

ポール・ポッツ

“ワンチャンス” JAPAN TOUR 2014

PAUL POTTS

“ONE CHANCE”

JAPAN TOUR 2014



指揮 渡邊一正

オーケストラ セントラル愛知交響楽団



2014.10.2 木

愛知県芸術劇場コンサートホール

開演19:00 (開場18:15) ※未就学児入場不可

チケット料金 (税込) S席 10,800円 / A席 8,800円 / B席 6,800円

プレイガイド

中京テレビ事業チケットセンター ☎052-320-9933
チケットぴあ [Pコード:228-726] ☎0570-02-9999
ローソンチケット [Lコード:47580] ☎0570-084-004
愛知芸術文化センターPG ☎052-972-0430

イープラス eplus.jp
名鉄ホールチケットセンター ☎052-561-7755
セブン-イレブン店頭 他 有名プレイガイド
主催 / 中京テレビ放送

公演に関する
お問合せ

中京テレビ事業 ☎052-957-3333

〒460-8613 名古屋市中区錦3-15-15 CTV錦ビル6F (平日AM10:00~PM5:00/土・日・祝日休業)



インターネットからでもお申込み頂けます。
<http://www.e-get.tv/>

ポール・ポッツ “ワンチャンス” JAPAN TOUR 2014

奇跡の歌声で世界中を魅了し、ドラマティックな半生が映画にもなったポール・ポッツが、3年ぶりのジャパンツアーを開催。

PROFILE

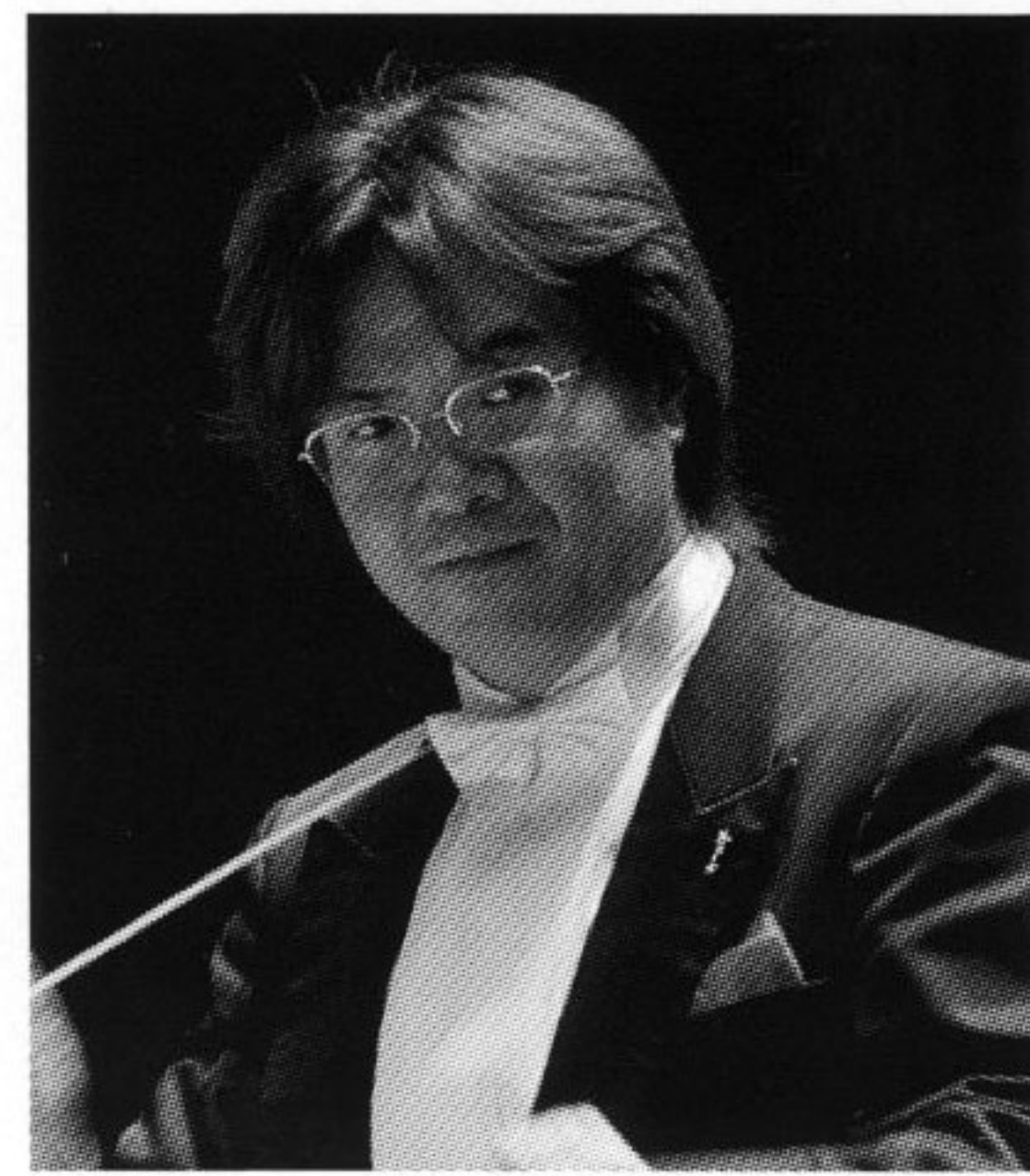


ポール・ポッツ

PAUL POTTS

1970年10月13日、英国ブリストル生まれの43歳。生活のために、数々の職業を経て、携帯電話のセールスマンをしながら、2007年にチャレンジした人気オーディション番組「ブリテンズ・ゴット・タレント」に出演、その素晴らしい歌唱力を認められ初代チャンピオンに選出された。デビューアルバム『ワン・チャンス』は、全世界で400万枚の大ベストセラーを記録。2009年8月には日本テレビ系「24時間テレビ32『愛は地球を救う』」のオープニングで「アメイジング・グレイス」を歌い、大きな話題となる。

2010年3月には2回目の来日公演にして初のジャパン・ツアーとして東京、大阪、福岡、金沢、名古屋の全国5都市を回り全7公演を行う。同年9月にはニューアルバム「ニュー・シネマ・パラダイス～ベスト・ムービー・ソングス」をリリース。2011年4月には読売日本交響楽団と初めて共演、東京、横浜、大阪で公演し、映画音楽の数々を披露した。2012年11月にBunkamuraオーチャードホールで開催された「シネマ・ミーツ・シンフォニー“ザ・ベストテン”」のスペシャルゲストとして出演し、多くの聴衆を魅了した。2014年3月には半生を題材にした映画「ワン・チャンス」が日本でも公開。多くの人々がサクセスストーリーに感動し、本人吹き替えによる劇中歌を楽しんだ。今回の来日公演は2011年以来3年ぶりとなる単独コンサート。ポール・ポッツの代名詞ともいえるプッチーニの「誰も寝てはならぬ」など名曲の数々を披露する。



©満田聡

渡邊一正 (指揮)

KAZUMASA WATANABE
Conductor

東京フィルハーモニー交響楽団指揮者。1995～02年まで広島交響楽団正指揮者を歴任。NHK交響楽団の定期演奏会を始め、日本国内の

オーケストラとは読売日響、日本フィルを始め主要なオーケストラと定期的に客演している。オペラ、バレエでの活躍も目覚しく、新国立劇場で歌劇「友人フリッツ」、同劇場バレエ団では「白鳥の湖」「くるみ割り人形」「ドン・キホーテ」などを指揮。2006年には「白鳥の湖」の新演出の指揮も行い、大成功を収めた。海外での公演ではサンクトペテルブルグ交響楽団の定期演奏会に客演するなど、確実にキャリアを積んでいる。

ピアニストとしても8歳の時に東京交響楽団、東京フィルと協演。87年～89年まで渡欧しハンス・ライグラフ教授に師事。その後、東京フィル定期、広島交響楽団定期などのオーケストラと弾き振りを含むプログラを行なうなど、ピアニストとしての才能も評価されている。

セントラル愛知交響楽団

CENTRAL AICHI SYMPHONY ORCHESTRA

1983年ナゴヤシティ管弦楽団として発足。1997年岩倉市の好意による練習場の無償借用や事業補助を機会に、セントラル愛知交響楽団と名称を変更。2009年4月より一般社団法人として再出発する。2013年に創立30周年を迎え、2014年4月から音楽監督にチェコの名匠レオシュ・スワロフスキーが就任、楽団として新たなスタートを切る。定期演奏会、コンチェルトシリーズ、「第九」演奏会等の自主公演の他、バレエ、オペラ、ミュージカル等の依頼公演にも数多く出演。海外では2007年7月、8月中国内蒙古自治区、2009年9月タイ・バンコク（文化庁国際交流支援事業）で公演を行い、成功を収めた。独自の構成によるプログラム、幅広いレパートリーを生かした学校公演、演奏者と聴衆の距離を縮めるような室内楽公演にも積極的に取り組み、年間約100回の公演はいずれも好評をもって迎えられている。1996年「平成7年度愛知県芸術文化選奨文化賞」、2005年「平成16年度名古屋市芸術奨励賞」受賞。

